

**令和元年東日本台風における茨城県内の自衛隊災害派遣状況**

**1 派遣部隊 (※：県へのL0)**

- (1) 陸上自衛隊  
     施設学校(勝田), 第1施設団(古河), 武器学校(土浦), 需品学校(松戸), 第1師団(練馬)※
- (2) 航空自衛隊  
     第7航空団(百里)※, 百里救難隊(百里)

**2 派遣従事期間**

令和元年10月13日(日)～同年11月9日(土)までの28日間

**3 派遣場所**

6市町(水戸市, 常陸太田市, 常陸大宮市, 城里町, 大子町, 五霞町)及び鬼怒川上空

**4 活動内容**

人命救助, 土嚢による水防活動, 避難支援, 給水・給食支援, 入浴支援, 道路啓開  
 浄水場復旧支援, 汚水処理施設の復旧支援, 廃棄物除去支援, 空撮及びデータの提供

**5 活動規模**

- (1) 人員(現場活動従事者) 延べ1,215名
- (2) 車両 延べ約272両
- (3) ボート 延べ約5隻
- (4) 航空機(ヘリ) 延べ約2機

**6 主な活動実績(数字は全て延べ数)**

活動内容	活動期間	活動場所	活動部隊	実績
ボート救助	10/12	水戸市	施設教導隊(勝田) 94名	救助者数 37名
ヘリ救助		常陸大宮市 常陸太田市 大子町	百里救難隊(百里) 5名	救助者数 17名
土嚢による水防活動	10/12	五霞町	101 施設器材隊(古河) 34名	100m実施
避難支援	10/17	常陸大宮市	施設教導隊(勝田) 8名	2名避難支援
給水支援	10/14～ 10/18	常陸大宮市	施設教導隊(勝田) 131名	2,148名 61,002リットル
	10/16～ 10/22	大子町	施設教導隊(勝田) 武器教導隊(土浦) 併せて116名	
給食支援	10/16～ 10/23	常陸大宮市	施設教導隊(勝田) 103名	2,400食
入浴支援	10/17～ 11/9	水戸市	需品教導隊(松戸) 354名	飯富中にて実施 1,515名利用
道路啓開	10/20～ 10/30	常陸大宮市	施設教導隊(勝田) 214名	災害ゴミ仮置場の道路啓開
浄水場復旧支援	10/17～ 10/18	大子町	施設教導隊(勝田) 20名	頃藤浄水場の倒木・土砂除去
汚水処理施設の復旧支援	10/18	常陸大宮市	施設教導隊(勝田) 10名	富岡汚水施設の瓦礫除去
廃棄物除去支援	10/21～ 10/28	水戸市	施設教導隊(勝田) 122名	岩根町道路集積中の廃棄物除去
空撮及びデータの提供	10/15	鬼怒川上空	百里救難隊(百里) 4名	鬼怒川の空撮記録の提供

## 令和元年東日本台風における罹災証明書交付関係支援状況

### 1 支援活動を行った民間事業者

- (1) 東日本電信電話株式会社
- (2) ESR I ジャパン株式会社
- (3) ソフトバンク株式会社



建物被害認定調査アプリなどの操作説明  
(大子町)

### 2 東日本電信電話株式会社とESRI ジャパン株式会社の支援概要

- (1) 活動期間  
令和元年10月12日(土)から現在
- (2) 主な活動場所  
5市町(水戸市, 常陸太田市, 常陸大宮市, 城里町, 大子町), サーバー
- (3) 主な活動内容

期間	支援活動の概要	活動 人日数
10月12日～15日	①iPad mini を用いた建物被害認定調査の実施に向けたアプリの準備など ②10月14日付け内閣府通知に伴う建物被害認定調査の実施基準変更への必要措置	26
10月15日～21日	①水戸市など5市町において, 次の活動を実施 ア 建物被害認定調査業務や罹災証明書交付業務の実施計画の立案支援 イ 建物被害認定調査アプリの操作研修の実施 ウ 建物被害認定調査活動の支援(実施初日の帯同) ②市町村担当者向けの電話相談窓口を臨時設置し, システム操作等の質問に対応	56
10月15～11月30日	・建物被害認定調査の実施から罹災証明書の交付までのプロセスについて, 水戸市など5市町を中心に対応	59
12月1日から現在	・電話相談窓口の設置を継続し, 市町村担当者からの問合せに対応	78
合 計		219

### 3 ソフトバンク株式会社の支援概要

- (1) 支援期間  
令和元年10月13日(日)から現在
- (2) 主な支援内容  
ペーパーレスで建物被害認定調査を実施するために, iPad mini端末の無償貸与(最大103台)

期間	支援活動の概要	無償端末台数	
		iPad mini	iPhone
令和元年10月13日～	iPad mini 23台, iPhone10台の無償貸与	23台	10台
10月15日～	iPad mini 80台の無償貸与(追加)	103台	10台
12月27日～	iPad mini 10台の無償貸与(継続) (iPad mini 93台, iPhone10台の返却)	10台	—
令和2年3月27日～	iPad mini 3台の無償貸与(継続) (iPad 7台の返却)	3台	—

※ 同社については, 新型コロナウイルス対応(クルーズ船, 横浜港)においてもiphonを無償貸与していただいております。

# 支援の成果

## ■モバイル利用による建物被害認定調査

- ・より効率的に建物被害認定調査を実施するためのシステム
- ・モバイル端末上から調査結果入力、データのアップロードを実施することで現地調査と調査結果の登録作業をあわせて実施
- ・紙の調査票と項目はほぼ同じ
- ・各項目を入力後、調査結果をアップロードする
- ・調査票の印刷が不要なためモバイル端末が準備出来次第、調査に行くことが可能

茨城県被災者生活再建支援システム  
NTT東日本

iPad mini  
ソフトバンク



Survey123  
(調査アプリ)  
ESRIジャパン



調査フォーム  
ESRIジャパン

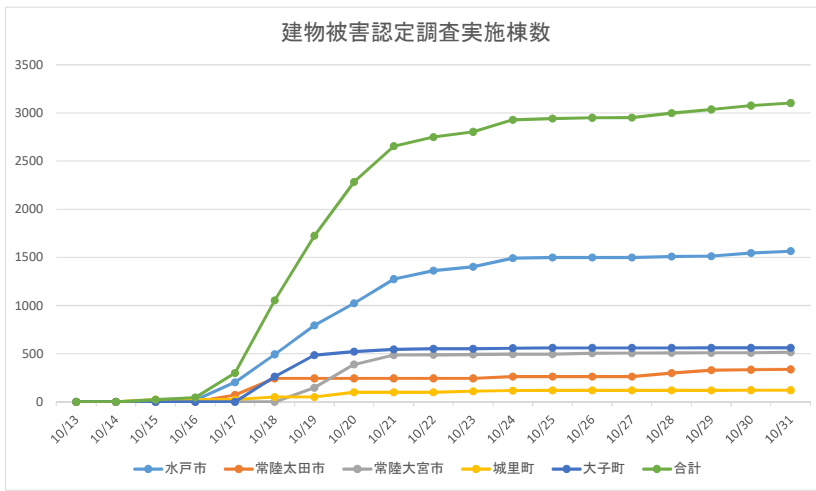


モバイル利用による  
建物被害認定調査は

**茨城県が  
全国初**

### 1 建物被害認定調査の進捗状況

- ・発災後、3日目から調査を開始。
- ・5日目の10月17日から、モバイルシステムによる調査を開始。
- ・モバイルシステムにより、最大752棟/日のペースで調査が進行。



住家被害認定調査  
(常陸太田市)



罹災証明書の交付(城里町)

### 2 東京新聞(令和元年11月10日 朝刊)

「被害広範囲 業務不慣れ 台風罹災証明サービスに差」

台風19号などで浸水した建物被害で、被災者が公的支援を受けるために必要な罹災(りさい)証明書発行に関する自治体の対応にばらつきがあり、居住地ごとに住民サービスに差が出ている。

台風19号の上陸から12日で1カ月。茨城県では今年4月から常総市を除く自治体が、判定作業の効率化を図るためインターネットのシステムを導入。台風19号被害から本格的な運用を始め、すでに申請数の8割弱で証明書が発行された。

<中略>

一方、〇〇県〇〇市では証明書発行はいまだゼロ。市資産税課は「申請は6000件ほどあるが、11日以降に順次発送する予定」としている。(小倉貞俊、山本哲正)

<中略>

台風19号の罹災証明書自治体の主な発行状況

自治体名	申請件数	発行件数	住家被害軒数
千葉県			
市原市	12020	8282	625
茂原市	676	676	1453
栃木県			
栃木市	約6000	0	13812
宇都宮市	714	1503	883
神奈川県			
川崎市	2812	2159	1891
横浜市	421	421	421
茨城県			
水戸市	776	448	683
常陸大宮市	507	416	570
埼玉県			
さいたま市	1374	992	1374
東松山市	653	179	520
東京都			
大田区	602	602	762
狛江市	170	47	283
群馬県			
太田市	230	230	324

※本紙が9日までに聞き取った数字(今後も増える見通し)。市原、茂原市の申請・発行件数は台風15号被害も含む

### 3 罹災証明書の申請・交付状況(令和元年12月24日)

申請件数	3,254件 (41市町村)	水戸市707, 常陸太田市349, 常陸大宮市525, 城里町123, 大子町519, その他1,031
交付件数	3,166件 (41市町村)	水戸市650, 常陸太田市349, 常陸大宮市525, 城里町122, 大子町519, その他1001
交付率	97.3%	

※ 令和2年3月27日現在の状況 申請件数3,578件, 交付件数3,556件, 交付率99.4%

## 医療機器販売業協会及び医薬品卸業組合の支援状況

### 1 県医療機器販売業協会

大子地区の医療機関が浸水被害を受け、X線撮影装置などの医療機器が使えなくなりました。新たな機器の装置には相当な期間を要し、地域医療に支障をきたす事態となったため、県医療機器販売業協会に要請したところ、約1ヶ月半の間、医療機器の代替機を、無償で貸与いただき、大子町の医療体制の継続を図ることができた。

#### <主な実績>

医療機関名	貸与医療機器
慈泉堂病院	ポータブルX線撮影装置 他1台
保内郷メディカルクリニック	超音波診断装置(エコー) 他4台
久保田病院	CR(X線デジタル撮影装置) 他4台
吉成医院	ポータブルX線撮影装置 他3台

4医療機関

延べ16台貸与

### 2 県医薬品卸業組合

県北地区を中心に、多くの家屋が浸水被害を受け、感染症がまん延する恐れがあったため、消毒が必要であったが、すぐには消毒薬が手に入らない状況であった。県医薬品卸業組合に要請したところ、発災直後から、休日を問わず要請の都度迅速に消毒薬を供給いただき、被災地域の公衆衛生の維持を図ることができた。

#### <主な実績>

供給期間:10/13~10/23(延べ19回)

供給先:常陸太田市, 常陸大宮市, 大洗町, 大子町, 城里町

供給薬:消毒薬 約4,000本